

兵庫県立がんセンターと地域の医療関係者をつなぐ



都道府県がん診療連携拠点病院  
兵庫県立がんセンター

# かけはし



vol.  
77  
2021 06

題字：井戸敏三知事



## 特集

### 婦人科がん診療における最新トピックス

- 兵庫県立がんセンター建替整備基本計画が公表されました！
- 新任医師の紹介
- ISO15189認定更新しました！
- 編集後記





## 特集

# 婦人科がん診療における最新トピックス

婦人科

婦人科では婦人科悪性腫瘍(子宮頸がんおよび子宮頸部異形成、子宮体がんおよび子宮内膜異型増殖症、子宮肉腫、卵巣がん・卵管がん・腹膜がん、卵巣境界悪性腫瘍、絨毛性疾患、外陰がん、膣がん、遺伝性乳がん卵巣がん症候群、リンチ症候群など)の診断および治療、治療後の検診、再発がんに対する治療や緩和医療まで行っています。2021年4月1日現在、婦人科常勤医:10名、専攻医2名でその診療に当たっています。

2020年度の新規治療症例は、子宮頸がん:115例、子宮体がん:136例、卵巣がん(卵管がん、腹膜がん含む):78例と、全国でも上位3施設に入る症例数となっています。手術は開腹手術のみならず、腹腔鏡下手術やロボット支援下手術も積極的に導入しており、2020年度の手術総件数は737件と院内で最も多く、そのうち腹腔鏡下手術が176件、ロボット支援下手術が28件と顕著に増加しています。



ロボット手術風景

## 卵巣がん治療におけるトピックス

卵巣がんは早期発見が困難であり、約半数が予後不良なステージⅢ・Ⅳ期症例です。進行卵巣がんに対する標準治療は、初回手術で最大限に腫瘍減量しその後に化学療法を施行することです。残存腫瘍を肉眼的にゼロにする完全手術が予後を改善させることは明らかですが、初回手術において完全手術を達成することは困難なことが多く、残存腫瘍を少しでも減らすために消化器外科や泌尿器

科の先生方の協力の下に多臓器合併切除を実施することもあります。初回手術で完全切除が不可能と考えられる症例に対しては、術前化学療法を施行し腫瘍縮小が得られた後に手術を実施する治療法の有用性が報告され、当院でも多くの症例が化学療法後に切除手術を行っています。

## ■ PARP阻害剤オラパリブの登場～化学療法後の維持療法が大きく進歩した～

2019年6月、PARP阻害剤オラパリブに「BRCA遺伝子変異陽性の卵巣がんにおける初回化学療法後の維持療法」の適応が追加されました。この根拠となった臨床試験のSOLO-1試験において、オラパリブを投与したグループはプラセボと比較して再発なく経過している患者さんがほぼ2倍であるという驚くべき結果でした(図1)。BRCA遺伝子変異陽性の卵巣がん患者さんにとって、画期的な治療が誕生しました。

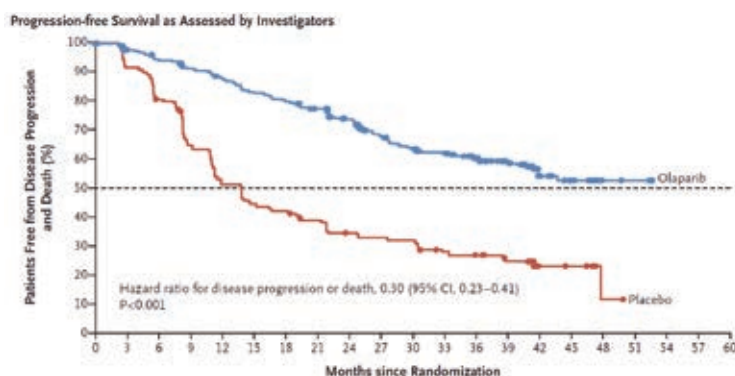


図1: N Engl J Med. 2018 Dec 27;379(26):2495-2505.

## ■ 2番目のPARP阻害剤ニラパリブの登場

さらに、オラパリブに続いて2番目のPARP阻害剤としてニラパリブも承認され、すべての進行卵巣がんに対して初回化学療法後の維持療法に使えるようになりました。また、プラチナ感受性再発の化学療法奏効例の維持療法にも適応となっています。

## ■ オラパリブとベバシズマブの併用(PAOLAレジメン)の登場

さらに2020年12月、相同組み換え修復欠損(homologous recombination deficiency:HRD)を有する進行卵巣がんにおいて、オラパリブとベバシズマブの併用維持療法『PAOLAレジメン』が承認されました。レジメンの名前の由来は臨床試験の略称:PAOLA-1試験に由来しています(図2)。PAOLAレジメンはBRCA遺伝子変異陽性の患者さんだけでなくHRDを有する患者さんまで広く適応となっています。今後進行卵巣がんに対する初回治療の主力レジメンとなることが期待されています。

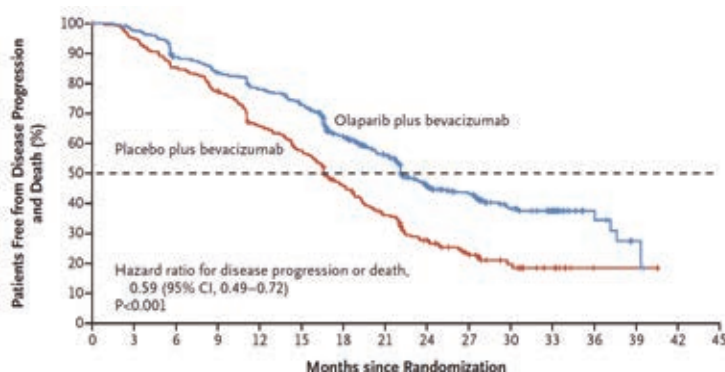
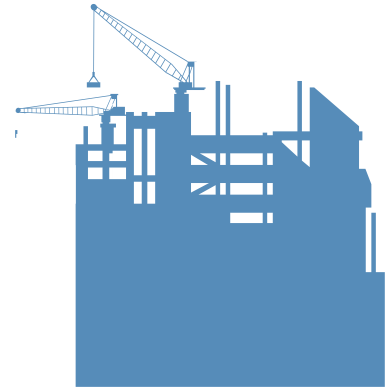


図2: N Engl J Med 2019 Dec 19;381(25):2416-2428.

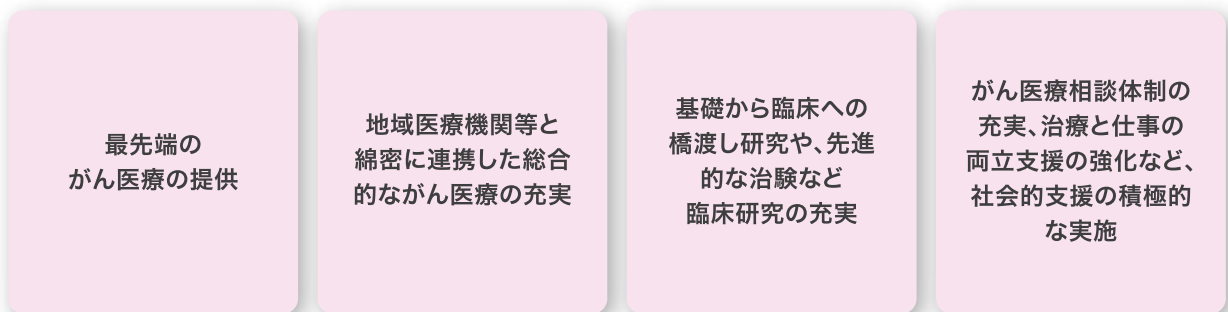
このように、進行卵巣癌に対して有効な維持療法が次々と開発されており、予後が大幅に改善されることが期待されています。卵巣がん治療はBRCA遺伝子検査やHRD検査(myChoice 診断システム)といったコンパニオン診断に基づいて維持療法を選択する、まさに個別化医療の時代となりました。近年は生殖細胞系列BRCA遺伝子変異による遺伝性乳がん卵巣がん症候群(HBOC)も注目されています。日本人では、卵巣がん全体では14.7%、進行卵巣がんでは26.7%もの患者さんが生殖細胞系列BRCA遺伝子変異を保有していることがわかっています。BRCA遺伝子のように人が生まれながらに持ち、子孫に受け継がれる遺伝子に関する検査を実施する場合には、遺伝カウンセリングや遺伝専門医による外来診察も受けていただき、本人だけでなく血縁者のがんの予防、治療の選択についてもご提案させていただいています。

# 兵庫県立 がんセンター 建替整備基本計画 が公表されました！



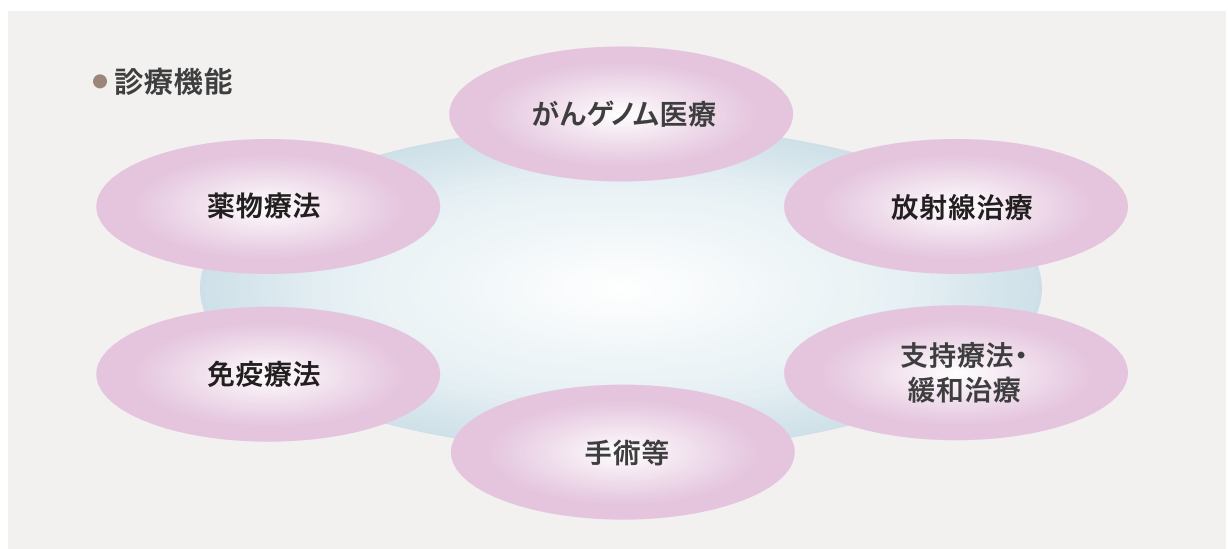
## 1 新病院整備の基本方針

均てん化が進む中でも、県内がん医療のリーディングホスピタルとして最先端の高度ながん医療を提供するとともに、がん患者さんの最後の砦となる専門病院として整備する。



## 2 新病院の機能

再発や多重がんなど「難治性の高いがん」や、治療できる施設に限られる「希少ながん」に対し、積極的に対応する。また、地域医療機関との連携を強化し、5大がんについても最先端の高度ながん医療を提供する。



● 診療科目

項目	診療科
内科系診療科 (5科)	呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、 血液内科、腫瘍内科
外科系診療科 (10科)	頭頸部外科、呼吸器外科、消化器外科、 脳神経外科、乳腺外科、整形外科、形成外 科、泌尿器科、婦人科、歯科口腔外科
連携専門診療科 (8科)	精神科、緩和ケア内科、皮膚科、 リハビリテーション科、放射線診断科、 放射線治療科、麻酔科、病理診断科

● 病床規模

360床（現病院400床）

● 研究機能

大学、企業との連携による効率的、効果的な  
共同研究等を推進

● 社会的支援

- 患者さん及び患者さん家族の心情に沿った  
相談 支援
- 治療と仕事の両立・就労支援
- 医療機関向け研修会の開催など情報発信の  
充実・教育機関への協力等

### 3 建設計画

● 整備場所

現地での建替整備

● 配置計画のイメージ

- 現病院の運用に支障をきたさぬよう、敷地の北側  
緑地部に配置
- 今後のがん医療の進展及び、変化に施設が対応で  
きるように、拡張スペースを建物に隣接して確保

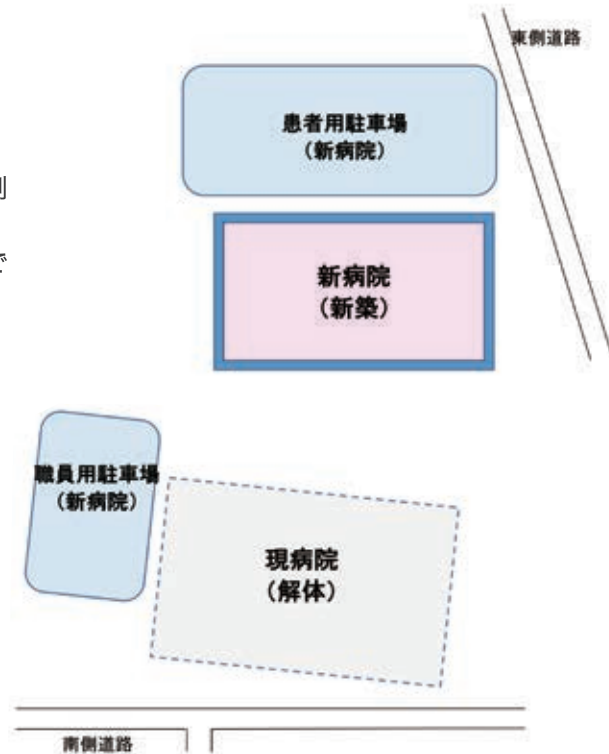
〔構造〕鉄骨造等、免震構造、地上8階程度  
〔延床面積〕約40,120㎡

● 事業費

約268億円（現病院解体工事費を含む）

● 整備スケジュール

- 開院時期は、2025（令和7）年度を目標
- 開院後の既存病院解体工事等の完了時期  
は、2027（令和9）年度を目標



区分	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
基本設計・実施設計	→						
埋蔵文化財調査	→						
建築工事			→				
開院準備					→		
開院					★		
現病院解体工事等						→	

詳しくは、兵庫県のホームページをご覧ください。  
<https://web.pref.hyogo.lg.jp/bk01/gann/1.html>

# 新任医師の紹介 その1

令和3年4月1日

①卒業大学（卒業年） ②所属科 ③当院役職 ④前勤務先 ⑤得意領域 ⑥趣味 ⑦ひとこと



**安田 裕一郎**  
(やすだ ゆういちろう)

- ①神戸大学(平成22年)
- ②呼吸器内科
- ③医長
- ⑦よろしく願います。



**田中 俊多**  
(たなか しゅんた)

- ①神戸大学(平成23年)
- ②消化器内科
- ③医長
- ④神戸大学医学部附属病院
- ⑤胆膵
- ⑥アウトドア
- ⑦頑張ります。よろしく願います。



**平林 卓**  
(ひらばやし たく)

- ①兵庫医科大学(平成28年)
- ②消化器内科
- ③医長
- ④国立病院機構神戸医療センター
- ⑤食べること全般
- ⑦日々精進してまいります。



**田中 由香里**  
(たなか ゆかり)

- ①京都府立医科大学(平成28年)
- ②消化器内科
- ③フェロー
- ④神戸市立医療センター中央市民病院
- ⑥サックス
- ⑦まだまだ未熟ですがよろしく願います。



**清水 奈保子**  
(しみず なほこ)

- ①香川大学(平成22年)
- ②呼吸器外科
- ③医長
- ⑦患者さんひとりひとりに合った治療ができるようにと思っています。よろしく願います。



**井澤 良介**  
(いざわ りょうすけ)

- ①大分大学(平成29年)
- ②呼吸器外科
- ③専攻医
- ④甲南医療センター
- ⑦精一杯勉強させていただきますのでよろしく願います。



**鈴木 知志**  
(すずき さとし)

- ①神戸大学(平成3年)
- ②消化器外科
- ③部長
- ④神戸大学医学部附属病院 食道胃腸外科
- ⑤消化器外科全般 特に消化管癌
- ⑦地域医療に貢献するとともにがん専門病院として高度の医療を提供できるように心がけて診療にあたってまいります。



**沢 秀博**  
(さわ ひでひろ)

- ①神戸大学(平成11年)
- ②消化器外科
- ③部長
- ⑤肝胆膵領域
- ⑦肝胆膵領域の進歩に貢献できるよう精進していきます。



**村田 晃一**  
(むらた こういち)

- ①平成18年
- ②消化器外科
- ③医長
- ⑦兵庫県がん医療に貢献できるよう精進・尽力いたします。宜しくお願いいたします。



**秋山 真吾**  
(あきやま しんご)

- ①平成20年
- ②消化器外科
- ③医長
- ⑤消化管
- ⑦日々成長できるよう努力してまいります。宜しくお願い致します。



**橋口 充**  
(はしぐち みつる)

- ①高知大学(平成23年)
- ②脳神経外科
- ③医長
- ④神戸大学医学部附属病院
- ⑤脳腫瘍、脳卒中、脳血管障害、てんかん
- ⑥旅行、ゴルフ
- ⑦ご来院の皆様が、安心して治療を受けられるように努めます。



**藤田 昌秀**  
(ふじた まさひで)

- ①神戸大学(平成30年)
- ②整形外科
- ③専攻医
- ⑦わかりやすい説明を心掛けて診療にあたっていこうと思っています。

# 新任医師の紹介 その2

令和3年4月1日

①卒業大学（卒業年） ②所属科 ③当院役職 ④前勤務先 ⑤得意領域 ⑥趣味 ⑦ひとこと



**出嶋 哲也**  
(でじま てつや)

- ①神戸大学（平成28年）
- ②形成外科
- ③専攻医
- ⑦よろしくお祈いします。



**後藤 彩**  
(ごとう あや)

- ①藤田医科大学（令和元年）
- ②皮フ科
- ③専攻医
- ④製鉄記念広畑病院
- ⑦皆様のお役に立てるよう精進していきます。



**京野 成紀**  
(きよの まさき)

- ①島根大学（平成28年）
- ②泌尿器科
- ③専攻医
- ⑦少しでも患者様のためになるよう頑張ります。よろしくお祈いします。



**清瀬 ますみ**  
(きよせ ますみ)

- ①徳島大学（令和元年）
- ②婦人科
- ③専攻医
- ⑦精一杯頑張りますのでよろしくお祈い致します。



**戎 直哉**  
(えびす なおや)

- ①神戸大学（平成30年）
- ②放射線診断科
- ③専攻医
- ④神戸大学医学部附属病院
- ⑥軟式テニス
- ⑦皆様のお役に立てるよう頑張っまいます。よろしくお祈いいたします。



**別所 良祐**  
(べっしょ りょうすけ)

- ①徳島大学（令和元年）
- ②放射線治療科
- ③専攻医
- ④神戸大学医学部附属病院
- ⑥コーヒー
- ⑦みなさまのお力になれるよう頑張ります。



**新 奈於美**  
(あたらし なおみ)

- ①平成27年
- ②麻酔科
- ③麻酔科医長
- ⑦地域の皆様にご貢献できるように精一杯診察させていただきます。どうぞよろしくお祈いします。



**綿谷 有紗**  
(わたや ありさ)

- ①滋賀医科大学（平成29年）
- ②麻酔科
- ③専攻医
- ⑦日々精進して参ります。よろしくお祈いいたします。



**可 信 雅彦**  
(かしん まさひこ)

- ①東京医科歯科大学（平成26年）
- ②歯科口腔外科
- ③医長
- ④神戸大学医学部附属病院
- ⑥模型製作、映画鑑賞、野球観戦
- ⑦地域のがん医療にご貢献出来るよう努めて参ります。



**山本 岳**  
(やまもと がく)

- ①愛媛大学（平成29年）
- ②婦人科 ③後期研修医
- ④兵庫県立西宮病院
- ⑥ピアノ、英語学習
- ⑦産婦人科として3年目になり、まだまだ未熟ですが、婦人科悪性腫瘍領域において日本でもトップクラスの当施設で勤務し勉強できる喜びを日々感じております。半年と短い期間ですが、日々を大切に精進していく所存です。



## ISO15189認定更新しました!

TOPIX



検査部

兵庫県立がんセンター検査部では、平成29年2月21日にISO15189認定を取得しました（初回認定）。認定範囲には一般的な検体検査や微生物検査などの基幹項目だけでなく病理学的検査や生理学的検査も含まれます。その後2回のサーベイランス（審査員による調査）と再審査を受審し、令和3年2月15日に認定が更新されました。検査部の技術能力が国際的な水準を維持し、精確な検査結果を提供する検査室であると認められたということです。

臨床検査結果は、診断や治療方針の決定、予後の推定に重要です。検査部では、これからも質の高い臨床検査業務を行い、品質の向上に努めて、がんセンターの理念である「最良のがん医療の提供」に貢献します。

### ISO15189とは

臨床検査室に特化した国際規格です。品質マネジメントシステムが確立されていることと、国際的レベルの技術能力があることが要求されます。海外の治験に参加するためには、世界に通用するISO15189などの認定を取得した臨床検査室が必要です。



全国的な新型コロナウイルス感染拡大の状況もあり、受診控えによる健康上のリスクについて懸念されています。

そのような中、当院職員・入院患者さんの新型コロナウイルス感染判明に伴う診療制限により、地域の皆様には大変ご迷惑をおかけしました。保健所等の指導のもと、より一層の感染対策に取り組んでまいります。

今年度は病院機能評価を受審予定であり、病院の理念・基本方針を改正し、「患者さんの意向を尊重する」という文言を追加しました。また、今号に現状を掲載させていただいたとおり建替え整備に向けた計画・設計も進めております。この機会に地域の皆様との連携を強化し、信頼してご紹介・ご受診いただけるよう医療の質の向上・改善に取り組んで参りますので、ご指導いただきますようお願いいたします。



都道府県がん診療連携拠点病院

## 兵庫県立がんセンター

〒673-8558 兵庫県明石市北王子町 13-70

TEL : 078-929-1151 FAX : 078-929-2380

ホームページ <http://hyogo-cc.jp/>

兵庫県がん 検索

